

# ごあいさつ



理事長 東原民範

平素より格別なご支援とご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、地域の皆さまに当金庫についてより一層のご理解をいただき、安心してお取引いただけますよう、ここに「からしんディスクロージャー誌2022」を作成いたしました。当金庫の経営方針や2021年度の事業の概況、業務の内容、地域への貢献活動などについてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

わが国経済は、新型コロナウイルスの波状的な感染拡大により経済活動が長期間にわたって制約され、景気が停滞しています。とりわけ、主要取引先である小規模事業者や中小企業の業況はいまだに低迷しており、経営者の高齢化や後継者不足等の問題に加え原材料やエネルギー価格の高騰といった問題に直面するなど厳しい経営環境にさらされています。当金庫においては、2021年度は協同組織金融機関である信用金庫の本領を発揮し、全ての取引先事業者への訪問活動などを実施し事業者の業況のきめ細やかな把握に努め資金繰りなどの支援に金庫一丸となって取り組んできましたが、いまだにコロナ収束が見通せない状況にあることから、2022年度も引き続き、営業地域の小規模事業者や中小企業に寄り添いながら、取引先の資金繰りを支え、ポストコロナの時代を生き抜くための事業継続・事業再構築・収益力改善などに関する課題解決の取り組みに全力を注ぎ、これまで以上に地域社会全体の成長に貢献していくことが求められています。

2022年度は、経営3か年計画『課題解決による地域経済の力強い回復を目指して』の中間年度であり、主要施策となる「地域支援力・営業力の強化」「経営力・内部管理態勢の強化」「人材力・組織力の強化」に重点的に取り組み、協同組織の地域金融機関として、会員・地域住民の皆さま、地方公共団体をはじめとした地域の関係諸機関との連携をさらに深め、地域経済の活性化、持続的な発展に寄与すべく役職員一同全力を挙げて営業活動に努めてまいります。

今後とも地域の事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズに積極的に取り組み、顧客サービスの一層の向上を図り、経営の健全性の維持・向上に努めてまいりますので、何卒変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月